

木村 あきひろ

ワールドカップでの日本代表の熱戦に胸を熱くし、スポーツが持つ力や人と人とのつながりの大切さを改めて感じた方も多かったのではないのでしょうか。一方で、海外情勢や為替の影響による物価高が続き、食料品や光熱費等の値上がりが私たちの暮らしに大きな影響を与えています。さらに7月8月は猛暑による熱中症対策に加え、ゲリラ豪雨や台風等への備えも欠かせない季節です。こうした中、先日閉会した第2回目黒区議会定例会では、防災や子育て支援、教育環境の充実等、皆様の生活に直結する様々な課題について議論が行われました。

また、議会では自由民主党目黒区議団の“政務調査会長”を拝命いたしました。政務調査会長は、区議団の政策立案や予算/条例の調査研究、議会質問の取りまとめ等を担い、皆様の声を区政へ反映する重要な役割です。これまで以上に責任を持って、政策実現に取り組んでまいります。

定例会では、「区立保育園におけるおむつサブスクの導入検討」と「デジタル教科書の活用」について一般質問を行いました。本レポートでは、その内容と区の答弁に加え、区民の皆さまの暮らしに役立つ施策についてご報告いたします。これからも現場の声を大切にし、一つひとつの課題に真摯に向き合い、安心して暮らし続けられる目黒の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

目黒区議会議員 木村あきひろ

目黒区民センター屋外プール 7月1日～9月10日

防災カタログギフト

全区民

目黒区は11月に全区民へ防災カタログギフト3,000円相当（世帯で合算可）を発送します。防災用品約180点から選べるほか、未申込世帯にも携帯トイレを配布し、在宅避難の備えと防災意識の向上を図ります。



ホーム&スクール

保護者

今年9月から保護者連絡ツールが「ホーム&スクール」から「すぐる」へ変わります。欠席連絡やお便り配信に加え、PTA連絡や日程調整機能も利用可能になります。



詳細は木村までご連絡ください！

エアコン助成

65歳以上

65歳以上の非課税世帯等を対象に、エアコン購入・設置費を最大10万円助成します。東京都ゼロエミポイントとの併用も可能で、熱中症予防と安心して暮らせる住環境を支援します。



プロフィール

平成3年11月19日目黒区生まれ、目黒区育ち。目黒区立下目黒小学校、目黒区立第三中学校（現大鳥中学校）を卒業後、アメリカ・カナダの高校に通う。その後、埼玉大学教養学部に進学。在学中は中国人民大学に留学。卒業後はAIG損害保険株式会社、PwCあらた有限責任監査法人で勤務。令和2年から衆議院議員辻清人事務所（東京2区）で公設秘書を勤める。令和5年4日目黒区議会議員選挙にて初当選。

主な役職

令和5年度 所属委員会等
・企画総務委員会 ・区有施設等調査特別委員会
・自民党目黒区議団会計
令和6年度 所属委員会等
・文教・子ども委員会 副委員長

令和8年度 第2回 目黒区議会定例会における一般質問

2026年6月18日



1

区立保育園でも「おむつサブスク」を導入できませんか？

目黒区
回答

保育園に紙おむつを直接届ける「おむつサブスク」は、保護者の荷物や記名の負担を軽減するとともに、保育士の業務負担軽減にもつながるサービスです。一方で、区立保育園では保管スペースの不足や在庫管理、利用者と非利用者が混在した場合の運用等を理由に導入が見送られてきました。そこで、課題があることを理由に結論を出すのではなく、「どのような条件であれば導入できるのか」という視点で、他自治体や事業者へのヒアリング、区内私立保育園の運用実態等を踏まえ、条件の整った園でモデル実施を検討すべきと提案しました。これに対し区は、他自治体やメーカーへのヒアリングを実施し、課題整理を進めた上で、モデル実施も含めて検討していくとの方針を示しました。



2

デジタル教科書は今後どのように活用されるのですか？

目黒区
回答

国ではデジタル教科書を正式な教科書として位置付ける制度改革が進んでいます。紙とデジタルにはそれぞれ異なる長所があることから、「紙かデジタルか」の二者択一ではなく、学年や教科、学習内容に応じて適切に使い分ける考え方が重要であると提案しました。また、児童・生徒の理解度や学習意欲、読む力・書く力、健康面への影響等を継続的に検証し、その結果を今後の活用方法へ反映する仕組みづくりについても求めました。これに対し教育委員会は、国の制度設計や指針を踏まえながら教員研修や保護者への周知を進めるとともに、学力調査や学校訪問等を通じて効果を検証し、目黒区にとって最適な活用方法を研究していくとの考えを示しました。



下目黒小学校立て替え（複合施設化）

下目黒小学校は、老朽化への対応に加え、学校・児童館・学童保育クラブなどを備えた複合施設として建て替えを進めます。

令和8年7月頃には設計業務の事業者選定が予定されており、子どもたちの教育環境の充実と地域の交流拠点づくりに向けた取組が本格化します。

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
児童が通う校舎	既存校舎			▼R11.3	仮校舎			▼R15.3 新校舎
基本構想	基本構想							
基本設計・実施設計		基本設計・実施設計						
解体・新校舎建設				解体・新築工事				
めぐろ学校サポートセンター増築・改修	増築・改修工事							

木村あきひろ
事務所

住所：目黒区下目黒 2-22-11
電話 / FAX：03-6824-1991
メール：kimura@akihero.tokyo

各種等
SNS



木村あきひろの活動をご支援ください。
・年会費等なし ・各種ご案内
・ボランティアスタッフ募集

